

令和4年度第2回 学校評議員会議事録

1. 日時 令和5年2月21日(火) 13:30~15:00
2. 場所 宝塚東高等学校 アクティブラーニング室
3. 出席者 兵庫教育大学教授、同窓会長、自治会長、育裕会長、校長、教頭、事務長、総務部長、教務部長、進路指導部長、生徒指導部長、保健部長、1年学年主任、2年学年主任、3年学年主任、記録
4. 司会 教頭

各種アンケート

【グラデュエーションポリシーより】

指標2「社会人としての基礎基本（挨拶、規範意識、時間厳守、整理整頓）を身に付けられる取り組みを十分行った（GP）」は指導部のアンケートより 3.6~4.0/4.0 となっており、生徒、保護者の評価が高くなっており、十分取り組んでいる。

指標4「多様性を尊重し、対話を通して他者と協働する取り組みを十分行えた（GP）」は2学年のアンケートの指標2「他者との対話を重ね、豊かな人間関係を築くことができた」では、生徒は 3.8/4.0 として評価されており、高い評価となっている。

これは、教員評価のみ取っているもので、これ以外の指標については生徒や保護者の評価がありません。来年度は評価をしていただく。

【生活実態調査より】

本校の生徒は本をほとんど読まないという結果になっており、家庭での学習時間も極めて少ないという状況である。全くしないと答える生徒が約半分である。

将来の夢をもっているかの質問には、学年が上がるにつれ増加する傾向がみられる。また、1年生から一人一台タブレットになり、学習に役立っていると感じている生徒は他学年に比べ高い割合である。

朝食を食べずに登校する生徒が、3割程度いると見られる。昼食が起きてから最初に食べるものとなっており、学習に集中できないなどの原因の一つになっているのではないかと考えられる。

スマホの利用については、1年生が他学年に比べかなり利用時間が長くなっている。一人一台タブレットとなり、必然的に見る時間が多くなっている可能性がある。

【卒業生アンケートより】

1. 本校生徒の進学希望は、4年制大学に 47% 短大に 8% 専門学校に 27% 就職 7% となっており、例年このような数字での推移となっている。

具体的な進路を決めたのは高校 3 年夏休み以降となっており、遅すぎるが、それで

も満足している生徒が多い。

勉強をしない生徒や 30 分以内の生徒の割合が 57%となっている。勉強量が足りていない現状があり、模試のデータの活用についても、34%しか活用できていない。今までは、上を目指して頑張った良かったという記述はあったが、今年は自分のレベルにあったところを選べという記述がでてきた。無理して頑張らない方がよいといったメッセージが伝わってくる。

各部・学年

アンケートの回答数は以下の通り

生徒 1年 197名 3年 177名 3年 227名

保護者 1年 75名 2年 64名 3年 43名

職員 38名

【総務部】

オープンスクールの参加者数が増加していない。面倒見の良さが本校のポイントだと思っている。防災は生徒指導部とも連携している。図書室では、本を借りる生徒は少ないが、自習する人は増加している。昼休みはクラスで居場所のない生徒の居場所になっている。情報関係では、寄付により AppleTV も入った。残りの教室は、育友会の協力で AppleTV が入る予定。

【教務部】

授業見学の回数を増やし、授業改善を行えるよう感想用紙に記入してもらい交流をはかった。

【進路指導部】

学年ごとに目標を定めている。1 年から総合的な探求の時間が入り、自分探しを探究で取り組んでいる。学校での取り組みを保護者にみてもらえていない結果となっている。

【生徒指導部】

遅刻数は減っているがまだまだ半数までいっていない。文化祭では、実行委員会に 40 人も参加があり、主体的に取り組んでくれる生徒も増えた。安全安心な学校づくりではいじめアンケートを毎学期行い、気になる生徒は担任が話しを聞き、その情報を全職員に共有し、対応の仕方について関係教員で話し合うなどした。

【生徒指導部(保健)】

新型コロナウイルスにより9月に1クラス、インフルエンザで1月に1クラス学級閉鎖、臨時休業を行ったがその後増えることはなく、校内では爆発的に広がることはなかった。特別支援教育相談委員会を各学期1回ずつ、計3回行い、発達に課題があるなどの気になる生徒の情報共有を行った。今年度からは進路部長も参加し、生徒の卒業を見据えた指導や支援ができるようになった。

【総合健康類型】

スポーツ・医療関係について専門家から指導する機会を設け、校内でリーダーシップを発揮できる人材を育成している。

【1 学年】

目標1「学習習慣の確立と学習環境の充実」2学期から一人一台タブレットが入り、記憶定着アプリを使って、漢字と英単語について学習を進めている。全員が取り組み状況が良いわけではないが、タブレットがあることで学習が進められている生徒もあり、有効性は感じられる。

目標2「ルールを守ろうとする態度を養い、社会に参画する態度を身に付ける」教員と生徒、保護者の間に差がある。生徒、保護者は十分できていると考えているようだが、教員側としてはまだまだ伸ばせるとかんがえており、その差であると考えている。

指標3「他者を思いやりと共に自分を大切にし、豊かな人間関係を築くための素地を養う」は目標2と同じで、教員はもっとやれると思っているが、生徒、保護者はやっていると思っている。

【2 学年】

集合時間などについては守れるようになってきた。また、学年目標の対話についても、意識はできるようになったと考える。仲のいい子とは対話できるが、これからはそうでない子とも対話できるようにすることが目標。自分の将来について、まだ考えることができていないという生徒が多いのが現状。

【3 学年】

卒業式に向けて、身だしなみ指導を登校日に行った。卒業式に気持ちよく、全員出席できるよう、頭髪指導、服装指導を行ってきた。現在、全員出席できる状況である。進路実現のため早くから勉強をするよう指導してきた。ねばり強く取り組めた生徒が結果を出している。文化祭では運営やクラスの出し物、部活動の発表など、リーダーシップを発揮できたと思う。

令和5年度年間行事予定について

1 学年のオリエンテーションが新型コロナウイルス感染症の拡大により、宿泊学習から校内となったが、宿泊と同等の効果があると考えられることから、校内オリエンテーションを行うことにしている。

マラソン大会について、3年ぶりに開催されたが、新カリになり体育の時間が減ることもあり、来年度について検討中である。

11月18日(土)に50周年記念式典(キセラホール)を行う。卒業生に講演に来ていただき、生徒を元気づけるものになりたい。

兵庫県宝塚東高等学校いじめ防止基本方針

今年度3件あり、3か月の見守り指導を行っている。本校のオリジナルのいじめ指標として、「体を障る、たたく、蹴るふりをする」を入れている。

R4年度校則の見直しについて

毎年見直し、昨年度はクールビズの期間を設けたり、防寒具の許可を行った。休日の部活動着登下校の件はただいま検討中。

5. 質疑応答

兵庫教育大学教授: いじめの学習保障について、載っていないので、こちらはあってもいいのではないかと。また、学外の特別支援学校などのネットワークについても、必要だと考える。

生徒心得については、世の中の流れからもっと変えてもいいのではないかと。生徒指導が宝塚東は厳しいのではないかと。面倒見がいいというのはどういったことか、教員で共通理解する必要があるのではないかと。

同窓会長: 昼食をとらない子、食べる事が少ないのはどういうことか。経済的なのか、みんなと食べられないかを知っておく必要があるのではないかと。

校則について、かつて冬にコートを着ていたが、服装のみだれにつながり、制服を変えるきっかけになった。経済的なことはあるが華美にならないようにしてほしい。

自治会長: いじめはよくわからない。昔に比べて悪い噂は聞かなくなったので、イメージがよくなった。しかし、小さく丸まっている感じがする。いい子を育てる教育はできているが、高い志を持つ子や個性の強い子を育てなくなっているのではないかと。いい意味でのやんちゃな子が減っている。

育裕会長: いじめアンケートは、記名であるが本当のことを書いているのか疑問である。校則については、防寒着は何色でもいいのではないかと?子どもの中で納得しているのか疑問である。

自治会長: 制服についてはコストがかからないという面はメリットである。制服を自由に

してもそんな変な格好にはならないのではないかと思う。学期に 1 回自由服の日がある学校などもある。実験的に行うこともできるのではないか。

兵庫教育大学教授:総合的な探求の時間はどのようなものか。行事満足度が低いところも気になる。マナーを向上させるには校外の大人と接することが少ないからではないか。

進路指導部長:1 年はシナリオ、2 年は SDGS に取り組んでいる。また、進路の取り組みとしてインターシップを行っている。

同窓会長:アドミッションポリシーの周知をどのようにするのか第 1 回で質問した。その回答はどうなっているのか。

教頭:HP やオープンスクールのときにお知らせしました。